

テーマ型共創フロント 募集シート

■提案の募集内容について

募集テーマ	ごみの組成調査の効率化に関する提案
提案の募集対象 (テーマに関連する事業等の概要)	家庭から排出された燃やすごみやプラスチック資源、事業者から排出された事業系一般廃棄物の中に、どのようなものが含まれているか手作業で分類するごみ組成調査について、分類作業を自動化等により効率化する提案を募集します。
提案を募集する背景・課題	横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ プラ 5.3（ごみ）計画）の進捗管理上、必要となる基礎資料をごみの組成調査によって取得しています。ごみ組成調査では、燃やすごみの場合、1回あたり約 40 世帯分のごみ（容量 800L、重量 100～140kg 程度）を手作業で分類していますが、7～8人で4時間程度かかっています。作業は委託で行っていますが、作業負担の大きさが課題となっています。調査回数増が必要になった場合でも、作業負担が大きく、受託業者の調査可能回数に上限があるため、調査回数を増やせない状況です。また、将来的に受託業者がなくなる懸念もあります。 燃やすごみ調査の具体的な手順は以下のとおりです。 ①排出されたごみの袋を破り、中身を取り出す。 ②取り出した中身を紙類、プラスチック類、木竹類、繊維類、厨芥類、金属類、ガラス類、その他に分類する（1次分類） ③それぞれの項目について、詳細に分類し、合計 65 項目に分類する（2次分類）。 例）紙類の場合 新聞紙、段ボール、紙パック、雑誌・その他の資源化できる紙、資源化できない紙、紙おむつ ④分類した項目ごとに重量を測定する。
課題によって ①誰が ②どう困るのか	①ごみ組成調査委託の受託業者、横浜市 ②作業負担が大きく、多数の人員が必要であるため、人員の確保が困難となっています。人員が確保できない場合は、分類のための作業時間が長くなります。
課題に対して横浜市が現在どう関わっているのか	・調査目的に応じて、分類項目を減らしています。 ・分類するごみの量について、減らすことができるか検討しています。
募集対象	■ <u>公民連携の提案及び連携事業者の募集</u> ⇒テーマに関する公民連携の提案・アイデア及び連携事業者の両者を募集するものです。 □ <u>公民連携の提案のみの募集</u> ⇒横浜市が今後の事業等の方針や仕様を定めるために、テーマに関する公民連携の提案・アイデア等のみを募集するものであり、連携事業者を募集するものではありません。
※チェックのついたものが、今回の募集の対象です	
横浜市が希望する提案について	・ごみの分類作業を効率化するための提案
想定する提案の例	・ごみの分類作業を自動化できる機械 例えば、ベルトコンベア・AI カメラ・光学分析機器・選別装置等が一体となり、コンベア上を流れる燃やすごみを自動で分類できる装置 ※理想は、燃やすごみ分類作業のうち 1 次分類及び 2 次分類作業を全て自動化できるものですが、そのうち一部の作業のみの自動化でも可能です。

■提案にあたっての条件

募集期間	随時
実施予定時期	随時
提案の形式	様式3の【提案シート】をご提出ください。 ※提案シートその他、企画書や関連資料の添付も可です
提案の選定方法 ※チェックのある方法で 選定します	☐ 特に選定をしません（提案内容が妥当であれば採用数を絞込まない） ☐ 審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞込む） ☒ 提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 ☐ その他（ ）
横浜市から提供できるメリット	・横浜市ホームページへの掲載
横浜市の予算措置の可能性	提案の内容により、予算措置を検討します。
その他の留意点	
提案のお申込み先・ 内容についての お問い合わせ先 （事業所管部署）	横浜市資源循環局 政策調整課 調査等担当 TEL 045(671)4565 FAX 045(550)4239 E-mail sj-chousa@city.yokohama.lg.jp